

園長だより



みどり



幼保連携型認定こども園

No.1 0

宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園 園長 久島 孝昭

R2. 6. 12

いよいよ明日は運動会です。ここまで県内では新型コロナウイルス感染拡大の影響はなく、ほっとしているところです。明日は、子どもたちが全員元気で来てくれることを願っています。運動会のお手伝いをお願いしています保護者の皆さん、明日はよろしくお祈りします。

ところで、明日は天気は良さそうですが、気温が高くなりそうで、最高気温が30℃近くになりそうです。保護者の皆さんにはマスク着用をお願いしますが、うちわや携帯用扇風機などを持参いただくなどの暑さ対策をよろしくお願いします。タオルや飲み物もお忘れなく。

また、プログラムを「れんらくアプリ」でも見るができるようにしましたので、ご活用ください。

○ 2回目の運動会のリハーサルを行いました。

9日(火)の午前、年中・年長の子どもたちが参加して、日向夏ドームで2回目の運動会リハーサルを行いました。ドームでは、かけっこやリレー、組体操やダンスの練習を行いました。子どもたちは2回目のドームでの練習ということで、ゆとりも見られました。特に、年長の子どもたちは、ここでしかできないパルーンの練習を繰り返し行いました。本番もしっかり練習の成果を見せてほしいものです。



○ 「英語教室」無料体験レッスンを開催しました。

9日(火)の午後2時から「英語教室」無料体験レッスンを開催しました。当初3月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期になっていたのですが、ようやく実施できました。

本年度から、「英語で遊ぼう」と「英語教室」は「J-Kaiwa 英語教室」にお願いすることにしており、この日は社長のジェイミー・ハバードさんと、講師のマット・ラッセルさんに来ていただきました。



体験レッスンは、事前に申し込んでいた親子が受講しました。初めに年中、その後に年長の子どもたちが受けました。保護者の皆さんには見学していただきました。子どもたちはマット先生と楽しく活動し、その後、ジェイミーさんから保護者の皆さんに英語教室の実施にあたっての説明をしていただきました。

「英語で遊ぼう」は年少から年長までの子どもたち全員がクラスごとに行いますが、「英語教室」は年中・年長の希望者のみの参加になります。

○ 「英語で遊ぼう」「英語教室」が始まりました。

11日(木)から「英語で遊ぼう」と年中・年長の希望者対象の「英語教室」が始まりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で延び延びになっていましたが、ようやく始めることができました。今年から講師をJ-Kaiwa 英語教室にお願いしており、マット・ラッセル先生が来てくださいました。この日は、「英

語で遊ぼう」は午前中に年長、年少、午後に年中が各クラスごとにホールで行いました。子どもたちは年齢に応じた内容でゲームやダンスをしながら、英語に親しみました。午後は2時から「英語教室」があり、年中と年長の希望者がホールでそれぞれ参加して活動しました。

どちらも、これから月に3回のペースで木曜日に実施予定です。子どもたちが英語に慣れ親しんでくれることを期待しています。



○ 園庭の雲梯を撤去しました。

3日(水)の朝、園庭西側に設置してある雲梯を撤去しました。子ども達には人気の遊具なのですが、以前、側面に取り付けてあったチェーンが古くなり、取り外した後の留め具が危ないので撤去することにしました。撤去後はすっきりしましたが、今後、新たな遊具を設置する予定です。それまでは、ちょっと寂しいですが、我慢して待っていてほしいと思います。



○ 親のハグで乳児リラックス

5月16日(土)付けの地元の新聞に「親のハグで乳児リラックス」という記事がありましたので、紹介します。

複数の大学が「生後4か月以上の乳児は、両親にハグされると、他人にハグされたときよりリラックスする」ということを実験の結果、突き止めたそうです。生後4か月未満の乳児にはこの反応は認められなかったため、乳児が4か月間の両親との触れ合いを通じ、母親や父親に特有の抱き方を記憶した可能性があるということです。



抱き方はぎゅっとハグすることが効果的だそうで「ゆるすぎず、きつすぎず」がよいそうですが、日頃から親がぎゅっとハグする感覚を乳児は記憶し、心地よく感じ、リラックスするようです。また、ハグすることで、親もリラックスして、親子双方の安心感を高める効果があるそうです。

私も以前、7秒間ぎゅっと子どもを抱きしめてあげると、子どもは落ち着くという話を聞いたことがあります。朝、子どもが起きた時やぐずった時、夜眠る前など、いろんな場面で子どもをぎゅっとハグしてあげるとよいのかもしれません。

○ 食中毒にならないように気を付けましょう。

新型コロナウイルス感染拡大で外出や外食の自粛が続く、飲食店では来客減少対応のために、弁当などのテイクアウトに力を入れているようで、利用者も増えているようです。一方、梅雨に入り、これからは食中毒発生の危険性も高まります。店側は未然防止のための対応に努めていますが、私たち消費者側も予防のための意識と対応が必要です。ポイントとしては、

- ① 購入したらなるべく早めに食べる。
- ② 温度の高いところに置かない。持ち運びに時間がかかる場合は保冷剤やクーラーバッグなどを活用。
- ③ 残さないように適切な量を購入する。残してしまったら、思い切って廃棄する。

③については、食品ロス対応の観点からも、購入する量には配慮して、できるだけ捨てなくてよいようにしたいものです。「残った物を捨てるのはもったいない」という気持ちはよく分かりますが、残しておいて後で食べた時におなかを壊してしまった、ということになったら大変です。そうならないためにも、適量購入を心がけましょう。